

当間山・魚沼スカイライン (十日町市)

■環 境：山地
 ■対 象：一般
 ■期 間：5月中旬～
 7月上旬

信濃川と魚野川に挟まれた魚沼丘陵にある魚沼スカイラインの最高峰当間山からは塩沢町が一望できる。山頂周辺に残るブナの森は豊かな自然に恵まれ動植物や多くの野鳥たちに出会える。

魚沼スカイラインは魚沼丘陵のりょう線を走る約15kmの車道である。起点は253号線の八箇峠と353号線の十二峠である。この間、どこでも野鳥の声を聞くことができるが、ここでは魚沼スカイラインの最高峰である当間山のコルリを中心に紹介する。

魚沼スカイラインを十二峠から車で進むこと3km、当間山展望台がある。展望台のトイレのわきから遊歩道が始まる。

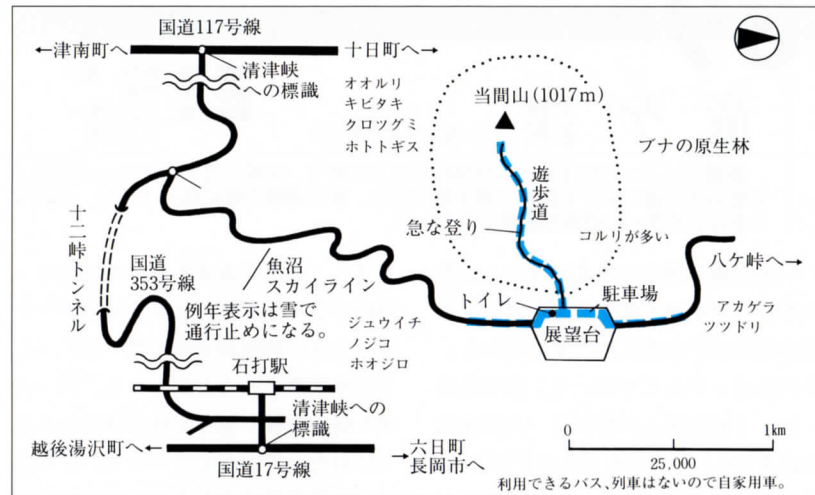
遊歩道は初めからブナの天然林で、2～3分歩けばコルリの声が聞こえ始め、歩くほどにその声は大きくなっていく。道の左右前後にすき間なくテリトリーが分布しているのか、縄張りを誇示する激しい声のごく身



魚沼スカイライン

近くに聞こえる。「チッチッチ」と高揚していく前奏もしっかりと聞くことができる。当間山頂上までの約20分の間、コルリの声が途切れることがないから、ここでなら間違いなくコルリのさえずりを満喫することができるであろう。

山頂までの道は急な登りが一カ所あるが、大部分は緩やかな道であるので、脚に自信のない人でも心配はない。頂上まで行かないでブナの木陰に留まり、じっくりとコルリを楽しむのもいい。



もちろん森林を代表する多種類の野鳥も聞くことができる。オオルリ、キビタキ、クロツグミ、アカゲラ等々。運がよければ沢筋からアカショウビンの声も聞くことができる。

コルリに托卵するジュウイチの声が頻りに聞こえるが、ツツドリ、ホトトギス、カッコウとホトトギスの仲間の4種類を確実に聞くことができる。

また魚沼スカイラインの周辺は雑木林が多く、ホオジロやアオジも数多い。開けた谷筋には魚沼によく見られるノジコが鳴いている。ホオジロ、アオジ、ノジコの3種類を聞き比べたい場合には魚沼スカイラインはとても便利である。

魚沼スカイラインは豪雪地のため、残雪に道をふさがれ、5月を過ぎても

開通しないことがあるので、問い合わせから出かける方が無難である。

(桑原民生)

メモ

交通 利用できるバス、列車はないので自家用車を利用。

十二峠までは、十日町方面からは117号線を中里村田沢で清津方面に左折9km、塩沢方面からは17号線を塩沢町石打で清津方面に右折4km。

タクシー利用はJR石打駅が最寄。展望台までは7km。

☑ 展望台の駐車場は広く余裕がある。トイレは展望台の一カ所以外はない。帰路は魚沼スカイラインをそのまま進み八箇峠まで足をのばし、中南魚沼盆地を俯瞰(ふかん)するのも一興。また中里村の七ッ釜や日本三大渓谷の清津峡を訪ね、渓谷美を堪能するのもよい。